

総務教育常任委員会資料

(平成24年2月21日)

〔件名〕

- ・「水木しげるロード in 汐留 ～ANAに乗ってまんが王国とっとりへ～」
オープニングセレモニーの実施について 【未来戦略課】・・・1
- ・第5回鳥取県民参画基本条例(仮称)検討委員会の概要について
【県民課】・・・2

未来づくり推進局

「水木しげるロード in 汐留 ～ANAに乗ってまんが王国とっとりへ～」オープニングセレモニーの実施について

平成24年2月21日
未来戦略課
交通政策課
東京本部

都内・汐留にて「水木しげるロード in 汐留 ～ANAに乗ってまんが王国とっとりへ～」のオープニングセレモニーを実施しましたので、その概要を報告します。

○日時：平成24年2月8日（水）11：00～11：30

○場所：汐留シオサイト 地下歩道

※日本テレビの本社ビルと汐留シティセンタービル(全日空本社が入居)の間の地下歩道にあるイベントスペース

○内容：以下の者によるトークショー、テープカット等

- ・平井伸治（鳥取県知事）
- ・西村 健（ANA上席執行役員日本販売室長 兼 東京支店長）
- ・さかなクン（東京海洋大学客員准教授）
- ・辻元 舞（ANA うっとり鳥取キャンペーン「鳥取美人物語」キャンペーンモデル）

○イベントのメディアでの露出状況

2月9日の「PON!」（日本テレビ）、「Oh a! 4NEWS LIVE」（日本テレビ）、「スッキリ!」（日本テレビ）、「やじうまテレビ!～マルごと生活情報局～」（テレビ朝日）等のテレビ番組（全国放送）にてオープニングセレモニーの様子が放送された。

○オープニングセレモニーの様子

〔トークショー〕



〔テープカット〕



○その他

- ・PRブースは3月7日（水）まで設置。
- ・期間中、鳥取空港の利用を促進する懇話会が2月15日～16日に、境港市役所が2月22日～24日にPRイベントを実施する予定。

第5回鳥取県民参画基本条例(仮称)検討委員会の概要について

平成24年2月21日
県民課

1 開催概要

日 時 平成24年1月26日(木)午後2時～4時30分
場 所 国際ファミリープラザ(米子市内)

2 主な議題

新たな県民参画手法(特に今回は住民投票制度)の必要性について

3 主な意見

○間接民主制をとる地方自治制度の中で、住民投票制度をどう考えるか

- ・代表者は住民のためにある。住民の意思を示しても最終判断は代表者なので、間接民主制が揺らぐものではない。
- ・間接民主制が原則であることを認めながら、間接民主制をみずみずしく保つためにも住民投票制度はあって良いのでは。住民自治の原則に基づいて、本来の主役である住民の意思を問うことはあっていいのではないか。
- ・選挙では候補者の人柄や有権者の考えに近い人を選んでおり、個別の政策がすべて一致しているとは限らない。選挙後も情勢は変わっていくので、重要な個別案件が発生したときは住民投票も解決策の一つではないか。
- ・すべてを住民投票で決めるのは不可能。何でもかんでも住民投票にかけるべきというわけではないが、住民にとって重要な案件を厳選したうえで住民投票をしてみるのは有効ではないか。

○住民投票制度について賛否両論があるが、どのように考えるか

- ・住民投票では住民がマスコミの報道に扇動されるという意見もある。たしかにマスコミの影響は大きいが、どこまで従うかは住民が判断できる。それは公職選挙でも同様で、現在はインターネットなど情報収集の手段が充実しており、賛否両論を比較検討することも可能。
- ・住民が賢明な選択をするのは不可能との意見があるが、住民投票であれ、二元代表制であれ、最終的に影響を受けるのは住民。ならば住民が意思を表明できる機会があった方が良い。
- ・住民投票をすると住民が二分してしまい、コミュニティの崩壊につながるとの意見もあるが、それは選挙でもあり得るのでは。賛成反対の意思を決定するまでの過程が大切で、住民投票結果を見て、議会で折衷案を考える道も開けてくるのではないか。

○諮問型であっても住民投票を行う意義は何か

- ・住民投票制度が参画手法として存在することは、住民にとって損はない。
- ・住民投票制度は首長や議会にとっては参考意見ではあるが、実施例を見ると投票率が概ね高いことから、住民の間の議論喚起や無関心層の関心を高めるのにも役立つのでは。

4 今後の予定

第6回検討委員会を3月28日(水)9時30分～12時、倉吉未来中心セミナールーム1で開催予定。